

宮本 たかし

福井県議会議員

県政 **NEWS**

宮本 たかし 事務所

〒915-0876 福井県越前市白崎町 73-1-3 3F
電話・ファックス **0778-22-6633**

2023
夏号
Vol.32



拝啓
大雨や酷暑など神経質な天候に見舞われることが多くはなっています。皆様が変わりごいませうか、温かいご支援を賜りました。四月の選挙後初となる六月議会も無事閉会を迎えました。本年度の私の人事について、議会においては総務教育常任委員長を又、会派・自民党福井県議会において、副幹事長の職を拝命致しました。県民益の向上の為、引き続き、本年度末、いよいよ北陸新幹線越前たけふ駅も開業致します。県民の方々のワクワクとした機運の醸成も大切であります。皆様の協力も切にお願い申し上げます。
敬具
宮本 たかし



令和5年度 6月補正予算 (肉付け予算)について

通常、年度の当初予算は前議会にあたる令和4年度2月議会にて審議されますが、知事選挙がある年については2月議会にて継続案件や執行まで時間的に余裕のない案件についてのみ当初予算(骨格予算)として審議し、新規事業など知事色の強い事業については選挙後の6月議会にて補正予算(肉付け予算)として審議することになっています。

今回はその肉付け予算の審議となりますが、総額で**376億円**となり、過去20年で最大規模となります。この予算の成立により令和5年度の予算現計は5,237億円となり**前年度比2.4%増**となりました。

< 予算の推移 >

(単位: 百万円、%)

会計区分	令和5年度			令和4年度 当初 ②	増 減 ①-② ③	対前年度 伸び率 ③/② %
	当初	6月補正	6月現計 ①			
一般会計	486,066	37,606	523,672	511,173	12,499	2.4%
特別会計	73,517	32	73,549	74,759	△ 1,210	△ 1.6%
企業会計	44,948	5	44,953	43,801	1,152	2.6%
合 計	604,531	37,643	642,174	629,733	12,441	2.0%

今回の予算については大きく以下のテーマに基づき提案がなされました。

1 北陸新幹線福井・敦賀開業対策

いよいよ今年度末には北陸新幹線が敦賀まで開業いたします。開業効果を最大化し、たくさんの方に福井県に来ていただけるように、二次交通の整備、観光地の魅力の磨き上げやイベントの開催等多くの事業が展開されます。

2 人口減少対策

岸田政権において次元の異なる少子化対策という旗頭の下、6月には「子ども未来戦略方針」が決定しました。福井県においては、この国の方向性が出される以前から子育て支援日本一を標榜し事業を展開しています。本年度も結婚・出産・子育て支援を始めとし、U/Iターン人口の拡大を含め、多種多様な支援プログラムが予算とともに準備されています。

3 物価高騰対策

既にご承知の通り、現在、電気料金を含むエネルギーコストの大幅な上昇を背景とした物価高騰が県民の社会生活に大きな影響を与えています。このような状況下、企業にとってはITや省エネ、人に対する投資などによる経営の効率化が大きなテーマとなっており、これらの動きを支援すべく予算が準備されています。また、電気使用量の大きな家電(エアコン・冷蔵庫)の買い替えについても支援事業が新設されています。

4 長期ビジョンの着実な推進

杉本知事の着任と同時に設定された長期ビジョン(長期計画)の確実な推進のため、学校教育分野、女性活躍推進分野、農業振興分野、伝統工芸振興分野、カーボンニュートラル推進分野等予算が振り分けられています。

5 国の内示等に伴う公共事業の増額

昨年8月の大雨による復旧工事を始めとして、国土強靱化の方針の下、多くの土木関係予算が計上されています。

今回の補正予算については、金額も大きく多岐にわたっているため、個別の予算については言及を控えたいと考えています。右のQRコードより「令和5年6月補正予算主要事業」が閲覧できますので、ご関心のある方はアクセスしていただくと幸いです。



令和5年6月議会 予算決算特別委員会

6月議会の予算決算特別委員会で質問の壇上に立たせていただきました。以下にその主なものとその質問に対する答弁を記載します。★が質問、☆がそれに対する答弁、□内はその質問についての私の思いや解説となります。

少子化対策

★前回のこの予算決算特別委員会にて指摘したが、九州の5県では、子ども一人当たり子育て支援予算金額の都道府県ランキングは下位であるにもかかわらず、総じて合計特殊出生率が福岡県より高い。この理由についての調査結果を伺う。

☆健康福祉部長：2月議会で委員からいただいた指摘を踏まえ、3月に、昨年の合計特殊出生率が全国第2位の宮崎県に赴き、県や市町との意見交換、子育て支援センターなどの視察を行った。宮崎県では、子どもを持つことへのポジティブな意識、社会全体で子育てを応援する意識、それから、宮崎県民が宮崎は子育てしやすい県だと思っている。そういう意識醸成を推進していることが分かった。

指摘した九州の5県では、子育てにおける経済的な支援が他県と比べ低いにもかかわらず、合計特殊出生率は福岡県よりも高いという結果が出ています(例：出生率/予算ランキング＝長崎県5位/47位・鹿児島県6位/44位・熊本県8位/45位)。これは経済的な子育て支援があるから出生率が高くなるのではないという意見の一つの立証となります。九州では結婚や家族観において独特の価値観があるのではと、九州において出生率が高い理由の調査を求めています。

★「夢や希望を育て未来を築く教室」などにおいて、結婚や家族を持つということに対してポジティブな人生観を持っていただくための教育を、若年層に対し長期に渡りじっくりと展開すべきと考えるが所見を伺う。

☆教育長：中学校では、赤ちゃん抱っこ体験などを通して、幼児の可愛さや命の尊さを体感する活動を行っている。高校では女性弁護士を講師に招き、結婚・出産・仕事と子育ての両立について講演をいただいた。今後もこういった講演の様子をオンデマンドですべての高校生が見られるようにしたい。また、今後は、「ふく育県」のPR動画等も活用し、また移住してきた子育て家族から見た福岡の良さを知って語っていただくような取り組みもやってみたいと思う。

現在の県の子育て支援に関するPR動画などは「親超優遇」など、既にお子さんをお持ちのご夫婦や家族を持つことに前向きなご家庭にとっては訴求力があることは認めます。こういった支援策も重要なが、それ以前に結婚や家族を持つことに否定的な適齢期の方々に、ポジティブなイメージを持っていただく価値観の醸成が出生率の向上には必要だと考えています。また、このことは幼少期から徐々に芽生えていく価値観だと考えられ、中学などでの教育の中において、このような家族観を持つようなプログラムが必要だと考えています。

経済対策

★New経済ビジョンに盛り込まれたウェル・ビーイングに込められた意図と、想定される具体的な施策について知事の所見を伺う。

☆知事：給料を上げるということをやりながら人への投資を求め、企業も成長する、そのうえで一人ひとりの収入とともに幸せが実感できるような社会にしていこうという考え方で今回のビジョンを作らせていただいているというところでございます。

自治体全体での追求という形ならいいのですが、経済振興担当部署がウェル・ビーイング(肉体的・精神的・社会的すべてにおいて幸福な状態)を過度に標榜することは「武士は食わねど高楊枝」や「貧しいながらも楽しい我が家」で満足し、本来の「県民のお財布を厚くする」という大命題からの敵前逃亡を引き起こすことになりかねないと危惧しています。今後も県民所得の最大化という最重要テーマを追跡していきます。

宮本たかしダイアリー



恐竜博物館プレオープンイベントにて



レクリエーション協会で盆踊り



馬借街道in神山にて山西区長会長と



南地区体育祭にて



6月議会最終日委員長報告



総務教育常任委員会委員長席より



JR西日本要望



広島県庁へ教育に関する視察